



Anniversary  
茂原市は市制施行  
70周年を迎えました。

# 図書館だより 第105号

2023年3月

## 変わり続ける図書館 —猪谷千香さん講演会—



**3月21日(火・祝)**

**14時～15時30分**

**場所：茂原市立図書館 研修室**

**定員：35名(先着順)**

**受付：3月1日(水)10時～**

**電話または図書館カウンターまで**

**講師：猪谷 千香(いがや ちか)**

東京都生まれ。文筆家、ジャーナリスト。明治大学大学院博士前期課程考古学専修修了。新聞記者、ニコニコ動画のニュース編集者を経て、2013年にはハフポスト日本版の創設に関わり、国内唯一のレポーターとして活動。2017年からは弁護士ドットコムニュース記者。『つながる図書館』(ちくま新書)、『その情報はどこから?』(ちくまプリマー新書)、『町の未来をこの手でつくる』(幻冬舎)、共著に『ナウシカの飛行機、作ってみた』(幻冬舎)がある。

『小さなまちの奇跡の図書館』(ちくまプリマー新書)などで知られる文筆家でジャーナリストの猪谷千香さんに、コロナ禍を経て変わり続ける図書館業界や全国の図書館の取り組み、新しい図書館についてなどをご紹介します。



**📺当講演会は様々な理由でご参加が難しい方のために**

**📺後日期間限定での動画配信を予定しております。**

～新型コロナウイルス感染症防止対策へご協力をお願いします～

※感染防止対策のため、マスクを着用の上ご参加をお願いいたします。

※熱のある方、体調不良のある方はご参加をご遠慮ください。

※事前に参加者名簿へのご記入をお願いいたします。

**主催・申込先：茂原市立図書館 〒297-0023 茂原市千代田町 1-6-1 電話：0475-23-6151**



## 茂原市立図書館

開館時間 10時～19時

電話番号 0475-23-6151

発行 茂原市立図書館指定管理者  
株式会社 図書館流通センター

PC・スマートフォン用ウェブサイト  
<https://opac.library-mobara.jp>  
携帯用ウェブサイト

<https://opac.library-mobara.jp/mobile>  
茂原市立図書館公式Twitter  
[https://twitter.com/mobara\\_library](https://twitter.com/mobara_library)

スマートフォン用  
QRコード



# 大人のための映画会

ここは今から倫理です。

**3/26(日)**  
**開催!**

## 1. 茂原市内がロケ地として登場!

本作は、茂原市内がロケ地として登場する作品です。  
ぜひ、注目しながらご覧ください!  
ロケ地: カットハウスワタナベ、茂原市第1自転車駐車場  
ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校(旧西陵中学校)



上映作品: 『ここは今から倫理です。』 1~4話(NHKよるドラ)  
原作: 雨瀬シオリ 出演: 山田裕貴、茅島みずき、池田優斗 他

ミステリアスな倫理教師、高柳(山田裕貴)が、  
悩める高校生の問題に立ち向かう。  
※作中に性暴力に関する表現が含まれるため、ご注意ください。

日時: 令和5年3月26日(日) 14時~16時

会場: 茂原市立図書館 研修室  
開場: 13時30分 参加無料

定員: 35名(事前申込制、茂原市立図書館にて受付)  
3月12日(日)より図書館カウンター、お電話にて  
受付いたします。(電話: 0475-23-6151)



茂原市立図書館  
Twitter



千葉もばら  
ロケーションサービス  
Facebook

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策へ  
ご協力をお願い  
・感染防止対策のためマスクの着用の上、  
ご参加をお願いします。  
・熱のある方、体調不良のある方は参加を  
ご遠慮ください。  
・事前の参加者名簿への記入にご協力を  
お願いいたします。

## 2. 出演者サインや台本も展示予定!

上映会に関連して、作品ポスターの館内掲示、館内展示ケース  
にて出演者サインや台本の展示も予定しております。  
ぜひご覧ください!

協力: 千葉もばらロケーションサービス(市役所企画政策課)



## 茂原市立図書館

### 定例行事のご案内

#### 『おはなし会』※第1・2・4土曜日

日時: 3月4日(土)、11日(土)、25日(土)

対象: 3歳児以上 14時~14時30分

内容: 絵本の読み聞かせ、紙芝居など

詳細は図書館にお問い合わせください。

#### 『映画会』※第3土曜日

日時: 3月18日(土)

14時~14時30分

対象: 3歳児以上

詳細は図書館にお問い合わせください。

#### 『ショート託児サービス』※第1・2・4火曜日

日時: 3月7日(火)、14日(火)、28日(火)

10時~14時

対象: 図書館カードをお持ちの方のお子様で、生後6ヵ月~未就学児

内容: 小さいお子様のいる保護者に、ゆっくり本選びと読書を

楽しんでもらうサービスです。保育士がお子様をお預かりします。

14日は「こどもコンシェルジュ」  
(子育て交流会)を開催します。  
10:30~11:30  
託児サービスは11:45から  
実施いたします。

#### 『赤ちゃんといっしょのおはなし会』※第3火曜日

日時: 3月21日(火・祝)

10時30分~11時

(定員) 7組程度

対象: 0~2歳児及び保護者

内容: 手あそびうた、わらべうた、赤ちゃんえほんのよみきかせ♪



# 大人のためのおはなし会

## ～おはなし会ボランティア養成講座特別編～

市内で活動しているおはなしグループ“もくもく”と図書館スタッフによる大人のためのおはなし会を開催します。いつもは子どもたちに語っているすばなしや絵本の読み聞かせをとおして、おはなしの世界を届けます。童心に帰っておはなしを聞いてみませんか。

日時：2023年3月17日(金)  
午後1時30分～午後3時  
場所：茂原市立図書館 研修室  
定員：30名(申込み不要)

「すばなし」・・・テキスト(絵本や本)をもたずにおぼえて聞き手の顔を見ておはなしをすることです。文字をまだ読めない子ども、すばなしでは深くおはなしの世界に入り込み想像力を広げていきます。

子どもの寝かしつけ時に絵本といっしょにおはなしもしてみませんか？もちろんおぼえなくても、読みながら語っても楽しいですよ。

おぼえてみたい方、語ってみたい方、児童架には「おはなしを語る人へ」のコーナーもあります。こどもの頃に聞いたなつかしいおはなしにも出会えます。足を運んでみてくださいね。

### おすすめテキスト

『おはなしのろうそく』1～32巻以下続刊

『日本昔話百選』  
三省堂



『子どもに語る日本の昔話』他グリム、中国など  
稲田和子 / 筒井悦子 こぐま社



『イギリスとアイルランドの昔話』  
石井桃子 編・訳 福音館書店

## ～編集後記～

2月14日(火)～20日(月)までの蔵書点検にご協力いただきありがとうございました。さて、今年度はコロナでなかなかできなかった映画会や落語会など、人数は少ないですが少しずつ実施することができました。やはりイベントがあるとワクワクしたり、様々な出会いがあるので楽しいですね。これからも様々なイベントに取り組みますので、来年度も茂原市立図書館をよろしくお願いします。(ち)

# 今月のおすすめ本

一般書



## 図書館にまいこんだこどもの大質問 司書さんもビックリ!

町の図書館や放課後の図書室には、子どもたちから、じつに多種多様な質問が寄せられている。「おひめさまになりたい!」「秘密基地をつくるにはどうすればいい?」など、59のレファレンス事例を紹介する。

015.9 こどもの大質問編集部 // 編 青春出版

一般書



## ビジュアル心理学図鑑 「心のしくみ」を読み解く

プラトン、アリストテレスといった古代ギリシアの哲学者が心の考察を始めたところから、フランスの精神医学の発展、現代の科学的心理学の流れまでを、イラストを交えわかりやすく解説する。

1407 エレーヌ・フレネル // 著 ソフィー・デラ・コルテイラスト、齊藤 勇 // 監修  
檜垣 裕美訳 新潮社

小説



## 笑犬楼vs.偽伯爵

筒井康隆と蓮實重彦、2歳違いの巨匠ふたりが、遂に出会って胸襟を開いた魅惑の対話と往復書簡を収録。互いの作品評も掲載する。『新潮』『群像』など掲載に書き下ろしを加え書籍化。

ツイ 筒井 康隆 // 著、蓮實 重彦 // 著 新潮社

ティーンズ



## 春夏秋冬代行者 暁の射手

四季の代行者と同じく神々に力を与えられた存在であり、大和に北から朝を齎す現人神、暁の射手。そしてその射手を護衛する守り人。巫覡花矢と、巫覡弓弦。少女神と青年従者の物語。

B7アツキ 暁 佳奈 // 著 スオウ // イラスト KADOKAWA(電撃文庫)

児童



## 常識なのに! 大人も答えられない都道府県のギモン 増補改訂版

日本海側には雪がたくさん降るのはなぜ? 巖島神社はどのように海の中に建てられたの? 聞かれると大人も答えられない都道府県のギモン90を、わかりやすく解説する。最新の統計データに更新した増補改訂版。

29 村瀬 哲史 // 著 宝島社

絵本



## フライパンヤア

パン、ポボボ、スイーンスイーン、コロコロコロロール...。不思議なリズムに、赤ちゃんがなぜか盛り上がる!?

究極の「おいしそう」を追求しつづける作家が描く、「おいしい響き」の絵本。

E 加藤 休ミ//作 講談社